

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アルフレッサファーマ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 540-8575 大阪府大阪市中央区石町二丁目2番9号	
本票作成	部署名：岡山製薬工場 製剤部 工務課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原材料等の製造・輸入・販売。従業員：676人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山製薬工場		岡山県勝田郡勝央町太平台18番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 26 )年度排出量		目標年度(平成 28 年度)	
	7,994 t CO <sub>2</sub>	7,256 t CO <sub>2</sub>		7,500 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(平成 26 )年度排出量	
	①	岡山製薬工場		7,256 t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間：平成 26 年度 ～ 平成 28 年度 ( 3 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 26 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	7.7 %	5.9 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量			
		基準年度	( 26 )年度	目標年度	
		11.156 t CO <sub>2</sub> /( t )	10.302 t CO <sub>2</sub> /( t )	10.500 t CO <sub>2</sub> /( t )	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等	
<b>【削減状況の自己評価】</b>					
昨年度は設備移設及び製造ライン載せ替えの検証等による非製造でのエネルギー使用が減少し、原単位当たりの排出量が基準年度を下回ることができた。また、残業及び休日出勤の統一や高圧トランス3台をトップランナーへの更新など削減に対する取組みも貢献した。今後も検証等による非製造での設備稼働が発生するが、室内温度や運転時間の管理を行いエネルギー削減に努める。					

**【推進体制】**

- ・工場において省エネ推進に関する会議を開催し効率的な設備稼働の運用を図る。
- ・パトロールの実施による省エネ推進。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山製薬工場	<p>(平成26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧トランス3台の更新：6tCO2/年削減</li> <li>・ 貫流式ボイラー本体の保温：11tCO2/年削減</li> <li>・ 軟水タンクを屋外から屋内（ボイラー室）移設：18tCO2/年削減</li> <li>・ 残業及び休日出勤統一によるボイラー運転時間の短縮：46tCO2/年削減</li> <li>・ 残業及び休日出勤統一による空調機運転時間の短縮：8tCO2/年削減</li> <li>・ 製造エリア設定温度変更（夏期：+1℃。冬期：-1℃）：87tCO2/年削減</li> <li>・ 包装棟吸収式冷凍機の冬期停止：101tCO2/年削減</li> <li>・ 早期退社とパソコン省エネ設定の徹底</li> <li>・ 貫流式ボイラー季節毎の空気比調整及び煤除去</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製剤棟吸収式冷凍機の冬期部分停止</li> <li>・ 圧縮空気使用設備の改善（連続ブローを間欠又はブロワーに変更）</li> <li>・ 渡り廊下照明を常時点灯から人感センサーに変更</li> <li>・ エアコン室外機遮光</li> <li>・ 配送センター倉庫エアコンの間欠運転</li> <li>・ 機械棟折半屋根に散水</li> <li>・ 機械棟蛍光灯更新（FLR40W→FHF32W）</li> <li>・ 製剤棟コンプレッサー3台を圧力制御の台数運転</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--